

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	道路境界協議立会事業				事業コード	2084
担当課等	所属名	玉山総合事務所 [玉山]建設課			担当係名	
	課長名	玉山総合事務所 建設課	担当者名	坂本貴裕	電話番号	4400-237

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	快適な居住環境の実現	コード 3
	基本事業	生活道路環境の向上	コード 1		関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 2目 道路橋りょう維持管理事業 (001-01)
	特記事項					
	事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度				⇒ (開始年度 不明年度～)
事務事業の概要	隣接土地所有者からの申請を受けて、道路用地との境界協議を行い土地の境界を確定する業務					
根拠法令等	道路法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市民からの要請を受けて境界協議を行うようになった。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
できるだけ早く立会してほしいとの要望を受ける。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
管理者として財産管理を行うことは必要であるが、道路境界全てを公費で確定させることは財政的に困難であるため、今後も申請方式により申請者負担で実施せざるを得ない状況である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	申請する者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 立会申請件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 申請により現地調査、資料収集等を行い、現地で境界立会をして、境界を確定させる。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 申請により現地調査、資料収集等を行い、現地で境界立会をして、境界を確定させる。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 立会実施件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	未確定の道路用地について、境界を確定することにより、道路の機能(表面)及び財産の適正な管理を行う。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 立会実施件数/立会申請件数) 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	道路環境の向上が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市道改良率(単位:%) 市道除雪率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	立会申請件数	件	26	29	30	28	30		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	立会実施件数	件	26	29	30	28	30		年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	立会実施件数／立会申請件数)	%	100	100	100	100	100		年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	0	0				*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	0	0	0				*****
延べ業務時間数		時間	260	290	300	280			*****
職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	1,040	1,160	1,200	1,120	0	0	*****
トータルコスト (A) + (B)		千円	1,040	1,160	1,200	1,120	0	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:境界確定により道路の適正な管理を行うことができるため道路環境の向上が図られる。		
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	「妥当」とする理由: ☒ 法定事務である ☐ 内部管理事務である ☐ その他		
有効性評価	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	「妥当」とする理由: ☒ 法定事務である ☐ 内部管理事務である ☐ その他		
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☐ 拡大または絞ることができる ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	「妥当」とする理由: ☒ 法定事務である ☐ その他		
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☐ 向上余地がある ☒ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:申請者との協議により成果があらわれるものであり、市単独では成果の向上は図れない。		
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☐ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:		
有効性評価	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☒ 類似事業がある ☐ 類似事業がない	
	事業名:公共財産の境界確認事務(道水路、普通財産、公園等)		
	※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 ☐ できる ☒ できない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ		
	理由:現在玉山区内の水路と共に効率的に維持管理を行っているため。		
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:事業費がないため。		
効率性評価	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:申請件数や協議内容により業務時間数が増減するため見込むことができない。		
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☐ 公平・公正である ☒ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:		
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☐ 公平・公正である ☒ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:		

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 申請の増減が予測できないため現状維持とする。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) ・現地の境界立会いは、迅速に対応した。 ・境界の確定作業等は、申請者の負担で実施した。						
	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1"><tr><td>☐ 終了</td><td>☒ 継続</td><td rowspan="3">→ ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☐ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携</td></tr><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr></table>  方向付けの理由と改革改善の内容 現地の境界立会いは出来るだけ早く行くと共に、申請者の負担については、一部公費負担も検討することが必要である。		☐ 終了	☒ 継続	→ ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☐ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携	☐ 廃止	☐ 休止	
☐ 終了	☒ 継続	→ ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☐ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携						
☐ 廃止	☐ 休止							